

第2学年 英語科学習指導案

令和6年10月24日(木)

第2校時 9時40分～10時30分

佐伯市立鶴谷中学校2年3組 34名

指導者 寺本 綾子

1. 単元名 日本の中学生に人気のあるものをAPUの学生に紹介しよう。

(*NEW CROWN ENGLISH SERIES 2* Lesson 5 Things to Do in Japan)

2. 単元について

本単元は、ニュージーランドの姉妹校の中学生が来日するにあたり、わかば中学校の生徒たちが日本の中学生に人気のあるものをニュージーランドの中学生に伝えようと計画する場面である。ウェブの記事やインターネットに掲載された観光客の記事を読んだり、姉妹校から送られてきたメールを読んだりすることで日本の中学生に人気のあるものを伝えるための比較を使った表現や相手意識をもった伝え方を学習することができる教材である。

文法事項としては、比較表現を扱う。比較表現を使うことで、人気のあるものをよりわかりやすく伝えることができるようになり、自己表現の幅を広げることができる言語材料であるといえる。本単元では、APUの学生に日本の中学生に人気のあるものを紹介する活動を設定し、アンケート結果をもとに情報を整理し、わかりやすく伝えるために比較表現を使い、相手意識をもち内容を精査して順番や構成を考え伝える力を身に付けさせたいと考える。

本学級の生徒は、大分県学力定着状況調査の質問紙調査で「英語の勉強は好きだ」と肯定的に回答をした生徒は約半数であった。また同調査結果から、本校の生徒は「読むこと」について正答率が低く、他領域に比べ課題がある。そこで、4月から、語彙力や文法事項定着のために、帯活動でペアや全体で単語練習をしたり、新出文法を含んだ英文を読み、質問に答えたりする活動を行っている。また、各単元でまとめた量の英文を読んで要約したり、「自分の夢」、「自分たちの町の紹介」、「自分の行きたい国」について、自分の考えや気持ちを述べる活動であるスピーチやプレゼンテーションを行ったりしてきた。興味をもって取り組もうとする生徒が多いが、まだ長文を読み取ったり、自分の気持ちや考えを付け加えて整理し、まとめて内容を話したりすることに課題がある。これらの点については、語彙力の不足、長文の読解方法や話す内容の整理・順序付けがわからない、といったようなことが原因だと考えられる。

指導にあたっては、上に述べた生徒の課題に対応するため、以下の2点を中心に行う。

- ① 既習表現や新出表現については、帯活動でペアや個人での練習やロイロノートを用いた復習に繰り返し取り組ませ、基本的な語彙や表現のきまりについて、知識・技能の定着を図る。
- ② 週末課題や朝自習で英文の読み取り問題を扱いながら、英文を読むことに慣れさせていく。さらに長文を読ませる活動を継続的に行うことや英文に必要な情報を加えるといった場面設定の工夫など、ねらいを明確にした単元計画を立てて生徒に取り組ませしていきたい。後半のReadの活動では、ニュージーランドの姉妹校から送られてきたメールの内容をモデルとして、読み取る視点を与えながら内容を読み取り、人気のあるものをどう伝えたらよいかを学ぶという目的をもたせて単元のゴールにつなげていきたい。

3. 単元の目標

APUの学生に日本の中学生に人気のあるものを知ってもらうために、実施したアンケートをもとに作成した英文を伝え合う活動を通して、自分の考えや気持ちを整理し、まとまりのある内容を話すことができるようにする。

4. 関連する学習指導要領における領域別

話すこと〔発表〕	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
----------	---

5. 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「発表」	<p><知識> 比較表現の特徴やきまりを理解している。</p> <p><技能> 人気のあるものについて、比較表現を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>APU の学生に日本の中学生に人気のあるものを伝えるために、アンケートの結果をまとめて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。</p>	<p>APU の学生に日本の中学生に人気のあるものを伝えるために、アンケートの結果をまとめて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。</p>

6. 単元指導計画と評価計画（11時間扱い） ○ 指導に生かす評価 ◎ 記録に残す評価

時間	ねらい・学習活動	知	思	態	評価規準【評価方法】
1	<p>① 単元の目標、学習内容を確認する。</p> <p>② 比較表現 (-er) の特徴やきまりを理解し、英文を書けるようにする。</p> <p>③ 比較表現 (-est) の特徴やきまりを理解し、英文を書けるようにする。</p>	○			<p><知識・技能> 比較表現 (-er/-est) の特徴やきまりについて理解している。 【記述分析】</p>
2 (本時)	<p>① 比較表現 (-er) の練習をして、定着を図る。</p> <p>② ニュージーランドについての英文の内容を読み取り、比較表現を使った英文を書く。</p>	○			<p><知識・技能> 比較表現 (-er) の特徴やきまりについて理解している。 【記述分析】</p>
3	<p>① 比較表現 (-est) の練習をする。</p> <p>② ニュージーランドについての会話文を読み、比較表現 (-er/-est) がどんな場面で使われているかを確認する。</p> <p>③ 比較表現を用いたクイズを作成し出し合う。</p>		○		<p><思考・判断・表現> 比較表現 (-er/-est) や既習事項を使って、自分が伝えたい物や人について表すクイズを作成している。 【記述分析】</p>
4	<p>① 比較表現 (more/most を使った文) の特徴やきまりを理解し、英文を書けるようにする。</p> <p>② 比較表現 (more/most を使った文) の練習をして定着を図る。その後、プレゼンテーションで使える表現を確認する。</p>	○			<p><知識・技能> 比較表現 (more/most を使った文) の特徴やきまりを理解している。 【記述分析】</p>
5	<p>① ニュージーランドについての会話文を読み、比較表現 (more/most を使った文) がどんな場面で使われているかを確認する。</p> <p>② 無人島にもっていくものについて比較表現を用いて会話をする。</p>		○		<p><思考・判断・表現> 比較表現 (more/most) や既習事項を使って、自分が無人島に持参したい物を理由とともに、自分の思いや考えを付け加えて相手に伝えている。 【記述分析】</p>
6	<p>① 比較表現 (原級・better/best を使った文) の特徴やきまりを理解し、英文を書けるようにする。</p> <p>② 比較表現 (原級・better/best を使った文) の練習をして定着を図る。その後、プレゼンテーションで使える表現を確認する。</p>	○			<p><知識・技能> 比較表現 (原級・better/best を使った文) の特徴やきまりを理解している。 【記述分析】</p>

7	<p>① インターネット上にある観光客が書いた日本に対する感想文を読み、比較表現（原級・better/best を使った文）がどんな場面で使われているかを確認する。</p> <p>② お互いの好きなものについて比較表現を用いて会話をする。</p>		○		<p><思考・判断・表現> 比較表現（原級・better/best を使った文）を使って、お互いの好きなものを伝えている。【記述分析】</p>
8	<p>① Use Read の内容を読み、概要を読み取る。</p> <p>② 内容に関する質問を作成し、お互いに出題し合う。</p>		○		<p><思考・判断・表現> 英文の概要を読み取り、それをもとに質問を作成している。【記述分析】</p>
9	<p>① Use Read の内容についての要約を作成する。</p> <p>② アンケートを実施し、プレゼンテーション用のデータをまとめる。</p>		○		<p><思考・判断・表現> アンケートで、クラスの人気があるものについて調査をし、まとめている。【記述分析】</p>
10	<p>① 日本の中学生に人気のあるものについてのプレゼンテーションを作成する。</p> <p>② 班でプレゼンテーションの練習をして、改善を図る。</p>	◎	◎	◎	<p><知識・技能> 比較表現の特徴や決まりを理解している。【記述分析】</p> <p><思考・判断・表現> 《APU の学生に日本の中学生に人気のあるものを伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、》伝えている。【記述分析】</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> 《同上》伝えようとしている。【記述分析】</p>
11	<p>① APU の学生に日本の中学生に人気のあるものを紹介する。</p> <p>② APU の学生と人気のあるものについての意見交流を行う。</p>		◎	◎	<p><思考・判断・表現> 《APU の学生に日本の中学生に人気のあるものを伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、》伝えている。【行動観察】</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> 《同上》伝えようとしている。【行動観察】</p>
後日	ペーパーテスト（定期テスト）	◎	◎		

7. 本時案 (2/11)

(1) 題目 ニュージーランドについての英文を読み、読み取った内容に関する新しい情報を英文で付け加えよう。

(2) 本時のねらい

ニュージーランドに関する英文について、比較表現についてクイズで復習したり、ペアやグループで協力して内容を読み取ったりすることを通して、比較表現の特徴やきまりを理解することができるようにする。

(3) 展開

時間	学習活動	支援及び指導上の留意事項	評価
3	1. Warm up	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや質問をする。 ペアで会話をさせる。 	
1	2. 単元のゴールと本時のめあての確認	<ul style="list-style-type: none"> 単元のゴールと本時のめあての確認をする。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><単元ゴール> 日本の中学生に人気のあるものを APU の学生に紹介しよう。 <本時めあて> ニュージーランドについての英文を読み取り、新しい情報を英文で付け加えてみよう。</p> </div>			
7	3. Review	<ul style="list-style-type: none"> 新出表現の特徴やきまりを確認する。 ※パワーポイントを使用して、前時の学習内容を確認する。 	
15	4. Activity 1 <ul style="list-style-type: none"> クイズで比較表現の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> クイズ形式で問題を出す。 ※パワーポイントを使用して、説明をわかりやすくする。 表や英文をもとに比較表現について練習させる。 ※スライドの難易度を段階的に上げることで、Activity 2 の活動に取り組みやすくする。 	
20	5. Activity 2 <ul style="list-style-type: none"> ニュージーランドに関する英文の内容を読み取る。 読み取った内容について、比較表現を用いて英文を作成し、本文に付け加える。 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間で内容を読み取るよう指導する。 ※比較表現の入った文に注目させ、使い方を理解させる。 中間指導を行い、正確に英文を書き加える技能を身に付けさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【加える英文】</p> <ul style="list-style-type: none"> New Zealand is stronger than Japan. </div> <ul style="list-style-type: none"> 苦手な生徒への手立てとして、ペアやグループで設問を解きながら内容を読み取らせるようにする。 	<p><知識・技能> 比較表現(比較級)の特徴やきまりについて理解している。</p> <p>【記述分析】</p>
4	6. 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 今日のめあてに対する振り返りをさせる。 【振り返り:ニュージーランドについての英文を読み取ることができた。比較を使って英文を付け加えることができた。APU の学生に紹介するときにも比較表現を使いたい。】 	自己評価シート